

さくら会役員決定

厳正なる選挙の結果、令和4年度のさくら会の役員が決定し、離着任式がコロナ禍の為、各棟で行われました。

旧役員の皆様、1年間お疲れさまでした。
新役員の皆様、1年間よろしくお祈りします。

(記：支援員 山本風花)



いずみのひろば



令和4年度を迎えて

平素は、和泉の里の運営にご協力いただきありがとうございます。
令和3年度の1年間は、令和2年度同様、新型コロナウイルスに振り回された1年でした。清光会として2年連続、盆踊り、バザーが中止となりました。また、ご利用者の一泊旅行や日帰り旅行も同様に実施できませんでした。帰省も2年連続実施する事ができず、わずかに、面会ができただけでした。我慢の1年間でしたが、ご利用者が誰一人罹患する事なく、令和3年度を終えたのは、ご利用者並びにご家族等関係者の皆様のお陰だと感謝しています。
令和4年度も、ここ2年間同様「新型コロナウイルス」との共存の1年間だとは思いますが、今まで同様感染症に対しては最大限の予防していきながら、ご利用者の生活においては、少しでも潤いのある生活を提供出来ればと考えています。

令和4年度は、理事長ビジョンに基づき、和泉の里として次の6点を運営の柱として考えていきたいと思っています。

- ①ご利用者の基本的人権を尊重し、ICTなども利用しご利用者の意向を最大限つかみ、適切に対応する福祉サービスの提供
- ②ハラスメント、メンタルヘルス、障害者虐待防止(身体拘束等の適正化も含む)への対応を重点的に実施
- ③自然災害等発生時に適切な対応ができる体制の構築
- ④昨年度同様、外部からのウイルスの感染経路を遮断。かつ、施設での感染症予防の徹底
- ⑤SDGsを意識した取り組みの実施
- ⑥職員の倫理性を高めるとともに、専門的な知識と技術の研鑽を行い、妥当性のある支援特に⑤に関しては、

一年を通じて「SDGs(誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標)」を意識しながら、自分たちが行っている事はどうか、どのような取り組みが今、そして今後必要なのか、を確認しながら取り組みを行っていく。

を目標に取り組んでいきたいと考えています。
このように、1年のすべてを感染症対策に追われるのではなく、与えられた環境の中でできる事を模索しながら、今年度も取り組んでいきたいと考えています。また、新規罹患患者数の動向も踏まえ、清光会モデルに基づき、面会の再開、そして、帰省の再開へと管理医と協議をしながら進めていきたいと考えています。

なお、現在、管理医と協議の上、いろ花、穂の花へ移動しての日中活動は継続しています。多難な1年になるとは思いますが、昨年度同様皆様のご協力よろしくお祈りします。

(記：施設長 柴沼廣)

4月 和泉の里 ご協力

泉南給食社
岡本(株)
日本プラント(株)

村上菊江
茂野憲一

(順不同、敬称略)

苦情・解決について

今月は苦情・解決に関わる事項はございませんでした。今後ともよろしくお祈り致します。
(苦情受付担当 山下祐輔)

短期入所利用状況

今回、短期ご利用はありませんでした。



編集後記

新しい年度が始まり、ご利用者の皆様は新担当が誰になるのか、期待と不安が入り混じった様子で過ごされていました。

毎年違うご利用者の担当をさせて頂くと、より多くのご利用者信頼関係も深まり、新たな発見も出来たりするので、私たち支援員も新年度はとても楽しみです。

コロナ禍が続きますが、園内で出来る余暇活動やレクリエーションを企画して、ご利用者の皆様のストレス発散をしたいと思っております。

(今月担当 坂本里香)

いずみのひろば

2022年 第326号

発行日 2022年(令和4年)4月27日

発行責任者 施設長 柴沼廣

企画編集 坂本里香 近藤瑞起

坂本達夫 松田大和

社会福祉法人清光会 障害者支援施設 和泉の里
泉佐野市大木2247-1

TEL 072-459-7613 FAX 072-459-7250

【URL】 <http://s-seikokukai.or.jp/izuminosato>

【mail】 izuminosato@nifty.com